

# 命の重みを感じて ～感謝して命をいただくことの大切さを 思い出し～

## 若者コーナー

### 命の重みを感じて

西川雄斗13＝中学生

(荒尾市)

荒尾市の人権フェスティバルで、坂本義喜さんの「いのちをいただく」という話を聞きました。坂本さんの子どもの中のぶ君が「心のなか人がしたら、牛が苦しむけん、父さんがしてやんなっせ」と言う気持ちがよく伝わりました。

普段は何げなく食べているお肉も、肉になる前は牛や鶏や豚だったことを、食べる前にみんなが考えるべきだと思います。「この肉は好き、この肉は嫌い」と好き嫌いしている

けれど、そんな時は、感謝して、いのちをいただくことの大切さを思い出してほしいと思います。

僕は小学6年生の時に童話発表会で坂本さんの「いのちをいただく」を発表させてもらいました。だから坂本さんの話には、とても共感できました。僕がみんなに言いたいのは「命の重みを感じ、大切にすることです。」

このことを考えると、人を死に追いやる、いじめや差別はできないはずで、これからは、いじめをしていた人も見て見ぬふりをしてきた人も、変わることができるとうれしいです。この講演会に来て話をしてくださった坂本さんに感謝です。



## ～いじめをしていた人も見て見ぬふりをしてきた人も、変わることができるとうれしい～